



2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 三 谷 産 業 株 式 会 社
代表取締役社長 三 谷 忠 照
コード番号 8285 (東証スタンダード・名証プレミア)
本社所在地 石川県金沢市玉川町 1 番 5 号
問い合わせ先
責任者役職名 専務取締役 財務担当
氏 名 内 田 大 剛
T E L 076 (233) 2151

剰余金の配当（中間配当・増配）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、当社は本日開催の取締役会において、2026 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2026 年 4 月 27 日公表)	前期実績 (2026 年 3 月期中間)
基準日	2026 年 9 月 30 日	同左	2025 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	6 円 00 銭	5 円 00 銭	5 円 00 銭
配当金総額	369 百万円	—	307 百万円
効力発生日	2026 年 12 月 2 日	—	2025 年 12 月 2 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、継続的な安定配当を実施するとともに、企業体質の強化と将来の事業拡大に備えるため、必要な内部留保を確保していくことを基本方針としております。なお、当社は 3 年スパンでの中期経営計画を策定しており、外的・内的環境の変化に応じて必要な見直しを行っておりますが、中期経営計画の進捗状況を見極めつつ、継続的な安定配当を実施するために、内部留保のうち配当積立金について、年間配当金総額の 3 倍程度の水準を一つの目標とし確保してまいり所存であります。

本日開示予定である 2027 年 3 月期中間期の業績については、中東情勢の緊張状態を背景としたサプライチェーンへの影響や調達コストの上昇が想定より小さかったことに加えて、当社グループの調達力を活かした代替提案等にも努めたことから、売上高および全ての段階利益が過去最高となることをお伝えできる見込みです。このことを受けて、2027 年 3 月期中間配当金につきましては 1 株当たり 6 円といたしました。

※ 2027 年 3 月期 配当予想

	1 株あたり配当金		
	中間期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
配当予想		8.00	14.00
当期実績	6.00		
前期実績 (2026 年 3 月期)	5.00	8.00	13.00

以 上